

## 癌化学療法輸液約束処方 食14

癌種                    がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の食道癌または術後補助化学療法  
レジメン名            食14 NIVO 周術期投与期間要注意

| 薬品名(商品名) | 一般名   | 略号   | 標準投与量       | 投与経路 | 投与時間 | 投与日   | 1クール期間 |
|----------|-------|------|-------------|------|------|-------|--------|
| オプジーボ    | ニボルマブ | NIVO | 240 mg/body | div  | 30分  | DAY 1 | 14日    |
|          |       |      | 480 mg/body | div  | 30分  | DAY 1 | 28日    |

**[ DAY 1 ]**

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 100ml + オプジーボ 240 or 480 mg / 30分(インラインフィルター使用)
- ③ NS 50ml / 5分

**【注意事項】**

- ・がん化学療法後に増悪した症例に適応
- ・投与の際にはインラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用すること。
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。
- ・パワーポート、BARD Xポート(シリコンカテーテル)使用不可

＜術後補助化学療法に用いる場合＞

8コースまで2週毎投与、9-17コース4週毎投与(最長1年間)

＜休薬規定＞

- ・AST,ALT ≥ Grade3      ・間質性肺炎: G1→投与延期を検討、G2→投与延期、G3→投与中止
- ・有害事象 ≥ Grade2      ・重症筋無力症、筋炎、: 投与中止
- ・自己免疫疾患の発症      ・大腸炎、下痢: G2→投与延期(G1→再開)、≥G3→投与中止
- ・肝機能障害: G2→投与延期(ベースラインまで改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ: 投与延期または中止
- ・神経毒性: G2→投与延期(ベースラインに改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・皮膚毒性: ≥G3→投与延期(G1→再開)
- ・腎毒性: G2→投与延期(G1→再開)、≥G3→投与中止
- ・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症: 専門医と連携し投与中止も検討